

高等学校 令和8年度 教科		数学	科目 数学Ⅱ	
教 科：	数学	科 目：	数学Ⅱ	単位数： 4 単位
対象学年組：第 2 学年 1 組～ 7 組				
教科担当者：（1組：井上・岸川）（2組：吉川・岸川）（3組：山本・山田）（4組：井上・吉川）（5組：山本・山田）（6組7組文系：井上・山田）（6組7組理系：吉川・山本）				
使用教科書：（新編 数学Ⅱ（数研出版））				
教科 数学 の目標：				
【知識及び技能】数学における基本的な概念や原理・原則を体系的に理解できるようにする。				
【思考力、判断力、表現力等】数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を育てる。				
【学びに向かう力、人間性等】問題解決の過程を振り返って考察を深め、評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を育てる。				
科目 数学Ⅱ の目標：				

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
既習の整数の除法や分数の計算と関連づけて、多項式の除法や分数式の計算の方法を考える活動を導入し、計算の方法について理解を深めさせる。座標を設定して円や直線を方程式で表現することができるようにする。	二つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉えて、問題を解決できるようにする。三角関数の加法定理から新たな性質を導くことができるようにする。	問題解決に向けて粘り強く柔軟に考え、数学的論拠に基づいて判断しようとする態度を育てる。また、数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度を育てる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	3章 三角関数 【知識及び技能】 弧度法による角度の表し方について理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 三角関数の式とグラフの関係について多面的に考察できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決に向けて粘り強く取り組めるようにする。	・指導項目 1節 三角関数 2節 加法定理 ・使用教材 教科書及び問題集 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 三角関数の加法定理や2倍角の公式を適切に活用することができる。 【思考・判断・表現】 三角関数の式とグラフの関係について多面的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題解決に向けて意欲的に取り組もうとする姿勢が見られる。	○	○	○	24
	定期考査			○	○		1
	1章 方程式・式と証明 【知識及び技能】 簡単な高次方程式について因数定理を用いてその解を求められるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 等式や不等式が成り立つことを論理的に考察し、証明できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決に向けて粘り強く取り組めるようにする。	・指導項目 1節 多項式・分数式の計算 2節 2次方程式 3節 高次方程式 4節 式と証明 ・使用教材 教科書及び問題集 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 様々な定理や公式を有効に用いて、正しく計算することができる。 【思考・判断・表現】 日常の事象や社会の事象を数学的に捉え、方程式を問題解決に活用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題解決に向けて意欲的に取り組もうとする姿勢が見られる。	○	○	○	24
	定期考査			○	○		1
2 学期	2章 図形と方程式 【知識及び技能】 直線や円を方程式で表すことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 座標平面上の図形を、方程式で表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決に向けて粘り強く取り組めるようにする。	・指導項目 1節 点と直線 2節 円 3節 軌跡と領域 ・使用教材 教科書及び問題集 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 座標平面上の直線や円を方程式で表すことができる。軌跡を求めることができる。 【思考・判断・表現】 図形の性質や位置関係について考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題解決に向けて意欲的に取り組もうとする姿勢が見られる。	○	○	○	27
	定期考査			○	○		1
	4章 指数関数・対数関数 【知識及び技能】 指数を正の整数から有理数へ拡張する意義を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 指数と対数を相互に関連づけて考察できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決に向けて粘り強く取り組めるようにする。	・指導項目 1節 指数関数 2節 対数関数 ・使用教材 教科書及び問題集 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 指数や対数の方程式・不等式を解くことができる。 【思考・判断・表現】 指数と対数を相互に関連づけて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題解決に向けて意欲的に取り組もうとする姿勢が見られる。	○	○	○	28
	定期考査			○	○		1
3 学期	5章 微分と積分 【知識及び技能】 関数の値の増減や極大・極小を調べ、グラフをかくことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 積分の考えを用いて、グラフで囲まれた図形の面積を求める方法を考察できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決に向けて粘り強く取り組めるようにする。	・指導項目 1節 微分の考え 2節 積分の考え ・使用教材 教科書及び問題集 ・一人1台端末の活用	【知識・技能】 導関数を用いて、関数の値の増減や極大・極小を調べ、グラフをかくことができる。 【思考・判断・表現】 積分の考えを用いてグラフで囲まれた図形の面積を求める方法について考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題解決に向けて意欲的に取り組もうとする姿勢が見られる。	○	○	○	32
	定期考査			○	○		1
							合計 140